

1	【案】 戸別収集
	【効果】 ①玄関先等にごみを出すことによる排出抑制の効果 ②燃やす・燃やさない・資源ゴミ等の分別徹底が進む ③集積所管理の負担軽減と利用者同士のトラブル回避 ④ルール違反のごみ出しや不法投棄の解消 ⑤カラス・猫被害の解消 ⑥3R 意識の向上
	【問題点】個別収集切替に伴う、コスト(収集時間・労力等)が不明、検証要
2	【案】 収集の有料化
	【効果】 ごみの削減・排出抑制の効果 【問題点】 不法投棄の増加懸念
3	【案】 住民が、ごみの不法投棄をスマートフォンにて市町に報告するアプリの導入
	【効果】 住民参加による不法投棄監視、削減、不法投棄対応処理コストの抑制
	【問題点】 「費用」対「効果」の検証要
4	【案】 域内量販店・小売店とタイアップした廃棄物量・リサイクル率・資源ごみ回収量等のデータ開示、レジ袋有料化誘導
	【効果】 3R 運動の促進
	【問題点】 店舗の協力度・理解度の温度差
5	【案】 ごみに関する小中学校への体系的な環境教育
	【効果】 子供を通して各家庭への環境問題意識の啓発、進化
	【問題点】 ①地道な継続努力が必要 ②単身世帯・高齢者世帯には別途対応要

補足

1. 三鷹市・調布市ふじみ衛生組合だけでなく、全国各地で既に導入・実施している市町村が少なからずあります。個々人の責任が、ごみ問題の原点と考えます。懸念される問題点はありますが、メリットが大きく是非、時間をおかず検討していただきたいと思ひます。
2. 上記に同じ。
3. 米国で実施している州・都市があるようです。千葉市は実証試験開始(日本経済新聞 6月14日)。
4. 既に取り組みされていると理解しておりますが、取り組み内容の「見える化」が不十分では？
5. かなり積極的に進められてきたと理解しております。これまで取り組みられてきた活動内容、今後やろうとされていること、問題点・課題等を、定期的に広く住民にPRしていただきたいと思ひます。

以上